

令和8年3月17日(火)
15:30 ~ 16:40
朝霞市立朝霞第一小学校
2階 なでしこ会議室

朝霞市立朝霞第一小学校 令和7年度第5回学校運営協議会

次第

- 1 あいさつ
- 2 これまでの学校経営について
- 3 協議及び懇談
- 4 その他

令和8年度の予定

- | | | |
|-----|-----------|--------|
| 第1回 | 4月23日(木) | 15:30~ |
| 第2回 | 6月6日(土) | 8:50~ |
| 第3回 | 11月27日(金) | 15:30~ |
| 第4回 | 2月26日(金) | 15:30~ |
| 第5回 | 3月16日(火) | 15:30~ |

令和8年度（2026年度）朝霞市立朝霞第一小学校 学校経営方針（案）

朝霞第一小学校長 金子 二郎

令和7年度：学校評価…自己評価及び学校関係者評価（抄）

		自己評価		学校関係者評価	
学校の組織運営	1	A	各分掌で学校評価を生かし、改善に向けて策を講じ教育活動を行ったことで教育目標の具現化に向け進むことができた。	A	それぞれ独自の得意分野を生かし、学校中で授業や生徒指導等の様々な教育活動の場面で「チームとして」連携・協働し、成果を上げている。
	2	A	不登校対策としてなでしこ教室を実施し、教職員間の情報共有の他、SC,SSW や関係機関を活用し早期発見、早期対応に努めた。	A	保護者は更なる安全、とりわけいじめ対策を期待しており、情報発信が大切である。安全な行動委がとれるよう訓練の継続が大切であり、家庭との連携が必要である。
基礎学力の定着	3	B	読書活動推進のため、南校舎返却箱を設置した。算数のT.T.や支援員による個別指導により、基礎学力の定着を推進した。	A	昨年度より上昇しているが自己評価Cも高い。保護者も積極的な取組に課題を感じている。単に知識を与えるだけでなく、自ら学び自ら考える力や生きる力を育てている。
	4	B	国語の校内研修においてブロック別に授業参観や意見交換を重ね、外部講師の指導により、授業改善に向かう意欲が向上した。	A	模範となるノートの書き方等、児童が目にする所に掲示しており、本人以外にもプラスになり自信にもつながる、先生方の工夫で児童が意欲的に取り組んでいる。
規律ある態度の育成	5	B	個人差はあるが改善に向け個別に声をかけるとともに、会計年度任用職員からも支援を継続している。	A	保護者も規律ある態度に関して期待が大きく、相談場所を求めていると思われる。家庭教育など合同の研修など体験型の協働した取組が有効ではないだろうか。
	6	B	「どんな言葉のやりとりがよいのか」等継続的に指導することに加え児童が考える時間を確保することで一人一人の改善が見られる。	B	いつも元気に挨拶してくれており指導の賜物と思われる。学校での指導は伝わってくるものがあるが、家庭や近所（身近な人間）の協力も必要と感じる。
健康・体力の向上	7	A	どの学年も体育の学習に積極的に参加している。休み時間には多くの児童が、時には学年の別を越えて率先して外遊びをしている。	A	運動会を参観した中で児童の健全な育みを感じる。体育や外遊びや授業の内容や季節によって選り好み傾向があるように感じる。体を動かす大切さを学んでほしい。
	8	B	「なわとび」「マット運動」など運動教室を実施し、教職員の熱意や体育部の取組により体力テストの結果が大幅に向上した。	A	先生が休み時間も一緒に運動している姿をよく見る。運動会の組体操は素晴らしく、上級生の演技を見て「次は自分」という気持ちから日常の取組が成果になって現れるのではないかと感じる。
連携	9	A	PTAによる学期ごとの充実したイベントにより、学年を超えての交流が実現できた。	A	PTA、地域団体と協力した取組が多く計画・実行されている。各団体がそれぞれの役割を課しながら、学校と連携し協力し合っているように感じる。
	10	B	学校運営協議会委員、なでしこ応援隊、PTA、ぐらんぱの会等による学習支援の中、学校を温かく見守っていただいている。	A	犯罪の抑止力となるだけでなく、地域住民との交流を深め児童の社会性や感謝の心を育てる教育的意義が見られる。安全指導に対する評価が高く、さらに情報発信して安心安全な場を確保してほしい。

10の評価項目中、自己評価のBは6に対し学校関係者評価では1となっており、年間を通じた教育活動について一定の評価をいただいていると思われる。その中で、項目6規律ある態度の項目6「学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。」はいずれもBにとどまっており、次年度に向けて、課題の軸となると思われる。他方、保護者アンケートの内容をみるとその内容は多岐にわたっており、中には相反するような御意見も寄せられている。もちろん、保護者アンケートの内容以外にも、本校の教育活動に対する様々な捉え方があることに心しなければならぬ。すべての要望に応えるには現実的に解決しなければならない課題も山積おり、粘り強く調整を進めていく必要がある。そのためにもこれまで以上に学校全体の取組に対する理解を求めていかなければならぬ。学校として独善的な判断に陥ることのないよう細心の注意を払いながら、関係者の声に丁寧な耳を傾けるとともに、学校の教育活動に携わってくださっている方と協議を重ね、時間をかけて最適解を見出していくことが求められている。

【学校教育目標】

考える子(知)

- 相手の立場に立って話を聴き、意欲的・主体的に学習に取り組む子に
- よく考えてから自分の責任で判断し、誠実に行動する子に
- 生きがいについて自分なりに考えることができる子に

やさしい子(徳)

- 自分も相手も大切にし、思いやりを行動に表すことができる子に
- しっかりと挨拶をすることができ、場をわきまえた丁寧な言葉遣いができる子に
- 相手を否定することなく、お互いの「自分らしさ」を認め合うことができる子に

たくましい子(体)

- 困難に直面しても簡単にあきらめることなく、ねばり強く努力する子に
- 基本的な生活習慣が身に付いている子に
- 自分の目標に向かって心身ともに鍛えることができる子に

【学校経営方針】

一小に関わるものすべてがより良く生きることができるように

- 児童はもちろん、教職員も保護者も地域にとっても「居場所」になる学校に
 - (1) 児童にとって…「生きる力」が身に付く
 - (2) 教職員にとって…子供たちだけでなく教職員にとっても「働き甲斐」を実感できる
 - (3) 保護者にとって…子育ての喜びも苦労も分かち合うことができる
 - (4) 地域にとって…自己実現や社会貢献をとおしてコミュニティが成立する

◎関わるものすべてで「将来この街を支える子供たちをみんなで育む」という共通目標

【目指す学校像】

活気があふれ、心が潤い、一人一人がより良く生きる学校

1. 活気があふれる学校

- (1) 「誰かがやってくれるだろう」と他者に依存するのではなく、それぞれができることに誠実に取り組むことで、全体が質的に向上する学校。お互いをよく知り合い、その上で「自分は何ができるか」を自分事として考え実行する「当事者意識」を、児童や教職員、家庭や地域が持つ。
- (2) 一人一人の努力を、お互いに認め合う。周囲の努力を見て「私もみんなのためにもっとがんばりたい」と思えるような集団に。(例えば教職員にとって居心地のよい快適な職場となれば、事故の発生を防ぐこともできる。)
- (3) 子供にとっては、「できた」「わかった」「楽しい」と実感すればするほど、より主体的に取り組むようになり、一人一人に真の学力や体力が身に付く。

2. 心が潤う学校

- (1) キーワードは「利他」

地域的には「子供たちのために力になりたい」と願う大人が多い。子供たちにとって多くの大人からの支援を得ることは大きな利益であるだけでなく、子供を支援する大人にとっても自己有用感を提供できる学校を目指すことで、結果的に全員が幸せになることを目指す。

- (2) 「教えるプロ」としての教師のプライド

令和7年度は、協働的な学びを育む学習指導を工夫するために、「互いの考えを聴き合い、学び合う児童の育成」を研究主題として、国語科の指導の在り方について教職員全員で研究に取り組んだ。この結果、授業内でペア学習・グループ学習を行う機会が増え、児童が学び合いを日常的に進めるようになった。同時に、グループ学習では発達に課題の見られる児童への配慮や支援の工夫が十分とは言えず、具体的な手立ての整理といった課題も浮かび上がった。学び合いについて、多様な方法や形態を試みながら、児童の実態に応じた実践を積み重ねていく必要がある。

- (3) 子供同士、大人同士、子供と大人の関係性を重視する

大人の世界の「排除の理論」を学習する子供は「いじめ」についての感覚が麻痺するのではないかという懸念。「多数派」が果たさなければならない「責任」についての共有。

→「弱い敵と共存する」(オルテガ・イ・ガセット「大衆の反逆」)

一人一人の児童生徒が「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるようにする。

- (4) それぞれの「らしさ」を大切にする。

個別最適な学びの一体的な充実を目指すことは、一人一人に合った教育環境を整備するが必要ではあるが、教育環境を個別化することと同意義ではない。多様な人格と触れ合うことで多くを学ぶことができるのが学校の最大の長所である。また、保護者や教職員の生活する背景も千差万別である。条件や制限により「他と同じ」働きかけはできなくとも、「自分でできること」に注力することで、学校を核として全員の力を結集することで総体的に教育力を向上させることができるような教育の場の構築を目指す。

3. 児童だけでなく、関わるものすべてにとっての居場所となる「私たちの膝折学校」

- (1) 明治7年開学以来、数えきれない多くの先達の弛まぬ努力により培われてきた「膝折学校」の文化（歴史、伝統）を再認識し継承する。
- (2) 地域の実態を踏まえた課題の解決を目指しつつ、働き方改革、少子高齢化、高度情報化、国際化、SDGsの視点を踏まえた環境問題、「貧困と格差」といった多くの市民が当事者となる社会全体に関わる問題に向き合い、長期的な視野に立ち「学校『は』何ができるか」あるいは「学校『へ』何ができるか」を、老若男女を問わず考え、「ALL 一小」で地域から発信する学校を目指す。
- (3) 上記の視点から地域学校協働活動の充実を図る。保護者のみならず地域に対しても広く協力を要請する。例えば児童の学習を直接指導するだけでなく、登下校時の児童の見守り活動や保護者の子育てに係る相談活動など、「これなら私にもできる」といった観点で、一人でも多くの大人が児童の健やかな育みに携わることができるよう、日常的に多くの協力者が子供と関わるができる環境整備を進める。自治会やNPO法人等、既存の組織にも積極的に応援を要請する。
- (4) 世代交代があっても、膝折学校としてのメンタリティを継承することができるよう、学校運営協議会が中心的な役割を担う新たな学校づくりを目指す。

<目指す教師像>

教育のプロとしての使命感をもち、児童に誠実に向き合い、これまでの人生から体得した「自分らしさ」という長所を生かして児童理解や授業に情熱を注ぐ教師。

- 熱意、創意、誠意をもって指導にあたる教師
- 心をこめて一人一人の児童に寄り添い、きめ細かな指導ができる教師…「師弟同行」
- 自分を磨くことに努め、魅力が感じられる人間を目指す教師
- 一小として培ってきた文化を継承すると同時に、新たな風土を作り上げる気概を持った教師
- 独りよがりになることなく、社会の要請に真摯に耳を傾け、時代の流れに柔軟に対応できる教師
- 保護者との人間関係を豊かに築き、共に子供を育てられる教師

<目指す児童像>

- 意欲的、主体的に学習し、自分なりの考えを持つことができる児童
- 自分から挨拶したり、分け隔てなく誰に対してもやさしい言葉がけをしたりできる児童
- 向上心を持ち、目標に向かって粘り強く努力し続けることができる児童
- 相手を否定することなく、互いの個性を認め合える児童
- 心をひとつにして、皆で物事に取り組むことができる児童

<<令和8年度の重点 >>

1. 信頼の構築…「先生」としての矜持の共有と力量向上に向けた不断の努力

- 信頼される教師としての指導力の発揮
 - ・教職員集団としての資産を継承することによる日々の授業と生徒指導・児童理解の充実
 - ・コンプライアンス意識の向上（「見られている」感から）と信頼されるための情報発信の工夫
 - ・迅速で誠意ある緊急対応
- 信頼される危機管理体制の構築
 - ・朝霞市教育委員会や首長部局との緊密な連携による教職員事故防止策の充実
 - ・怪我の防止、保健指導の充実、「生命の安全教育」の充実
 - ・施設設備の危険個所の早期発見と即時対応

○信頼される教師の挨拶

- ・自分からの挨拶（児童も、教師も）、地域と積極的に関わることのできる教師

2. 学習指導の充実と学力の向上

- 適切な教育課程の管理に基づく、効果的な学習指導の展開（授業時数の適正化）
- モジュール授業による基礎・基本の確実な定着…学力向上に向けた新たな指導法の工夫・改善
- ICTの一層の活用…研究の成果共有の継続。業務改善の視点にも立ったICT機器活用の推進。
- 学習規律の徹底…学校というフォーマルな集団において実現する学びの基礎
- 個別最適な学びと共同的な学び(体験活動、多様な他者との協働)の一体的な充実
- 全国学調、県学調の結果分析に基づいた学力向上プランの一層の活用と効果的な教育課程の展開
- 音楽、理科、英語における教科経営力の向上…担任としての授業力の向上
- 児童のプログラミング的思考の育成・充実
- 「深い学びの実装」「多様性の包摂」「実現可能性の確保」を目指し、多様な子供たちの「深い学び」を確かなものにする、総合的な学習の時間を軸とした探究的な学びの実現。学校応援団、外部指導者、ゲストティーチャーの積極的な導入

3. 体力の向上

- 限られた指導時間の中で最大限の体力向上を実現するための共通理解・共通指導の徹底
- 体育部を中心とした、更なる体力向上策の実施
- 「わかった」「できた」「楽しい」に裏打ちされた体力の確実な向上
- 学年・学級で取り組む体力向上の推進（共通理解と共通行動）
- 学級経営との関連を図った運動の実施
- 効果的な運動教室の工夫改善

4. 学年・学級経営の充実

- SSR（スペシャル・サポート・ルーム）の運営に関係機関の支援を活用した教育相談部を中心とする不登校対策、組織的な発達支持的生徒指導、特別活動の充実
- 互いの報告・連絡・相談・確認を日常化することによる組織的な取組の充実
- 個別の保護者の実態を踏まえた上での、気持ちに寄り添った丁寧な指導と保護者対応…担任だけでなく、管理職も含め様々な相談窓口の工夫
- 一人で抱え込まず、組織的ないじめの防止等の推進
- カウンセリングマインドを生かした児童・保護者対応
…さわやか相談室、朝霞市子ども相談室、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等相談機関や民生委員児童委員、こども未来課、朝霞・所沢・南児童相談所、埼玉県警察朝霞署等の関係機関と連携強化

5. 笑顔と活気あふれる学校づくり

- 年間を通じた感染症拡大局面にも対応できる、創意工夫と魅力ある持続可能な学級・学年づくり
- 発達段階や児童一人一人の実態に応じた、笑顔と活気のある「活動の場」の設定
- 児童が自ら楽しむことのできる外遊びのための環境整備
- 計画的な学級レクや学年レクの実施、

6. インクルーシブ教育の充実

- 全職員で全児童を支援する意識と体制の充実…県立学校等との連携の強化
- 特別支援学級と交流学級との連携の充実
- 通常学級に在籍する支援を必要とする児童への支援の充実

7. 道徳教育の充実

- 道徳授業の保護者公開（親子で考える道徳授業の展開）
→年間の授業参観において1回以上取り組む
- 考え、議論する道徳授業の実践
- 道徳的実践力の向上

8. 潤いのある教育環境の創造

- 「廊下歩行」「挨拶」「雨の日の過ごし方」をはじめ、令和7年度の自己評価から浮かび上がった課題の解決。
- 規律ある態度の育成を目指した共通理解を深めた上での共通指導の推進
- 保護者や地域住民も巻き込んだ、規律ある態度の育成に向けた働きかけの充実
- 安全で安心な学校づくり（自分の命も他人の命も大切にする。）
 - ・危機管理マニュアルの不断の見直しと円滑な共通行動を目指した共通理解の深化
 - ・大規模災害発生時の一斉帰宅抑制を前提とした体制の整備
→関係小・中学校間の日常的な情報共有。
放課後児童クラブや児童館、町内会、危機管理室をはじめとする関係課所館との連携強化
- 互いの個性を認め合い、生かし合える学校づくり
- 子供たちの生き生きとした姿の積極的な情報発信
- 美しく潤いのある教育環境づくり
- 清掃活動の徹底…「清掃は心の鏡」

9. 朝霞市立小・中学校教職員の業務量管理・健康確保措置実施計画に係る取組

=本校の現状=

- 在校等時間の偏在…校務分掌の属人化による、一部職員への負担の偏り
 - 年次有給休暇の取得率向上
 - 職員の異動に伴う教育活動の質の維持…伝統や本校の特色の継続と業務改善の両立
- =具体的な取組・方策=
- 「休むことへの後ろめたさ」の解消、特別休暇も含めた「休みを取りやすい」雰囲気情勢の継続
 - 多様な働き方の推進…テレワークの推進、フレックスタイム導入に向けた条件整備、校務用端末・学習用端末の一層の活用、
 - 指導法の工夫改善…AIドリルの活用
 - 事務作業の効率化…朝霞市教育委員会教材アーカイブ一層の活用、AIを利用した文書作成
 - 校務分掌の属人化解消…複数の教職員による事務→異動を前提とした情報共有と共同作業
 - 人的リソースの活用推進…Pサポをはじめとする保護者の参加、膝折宿町内や朝霞ぐらんぱの会をはじめとする認定NPO法人による支援の強化要請、ゲストティーチャーの更なる導入
 - 3分類に基づく業務整理…学校徴収金の現金収受事務の業者委託